

# SSK銀鈴増刊

ぎんれいだより  
H30年秋号

編集：公益社団法人銀鈴会  
東京都港区新橋 5-7-13  
ビュロー新橋 901  
電話：03-3436-1820  
1971年6月17日第3種郵便物認可  
(毎月6回5の日・0の日発行)  
SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより  
NO.8 2018年10月6日発行  
増刊通巻第5171号 定価50円  
発行：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

## 第31回日喉連東日本ブロック 発声訓練士養成事業研修会

平成30年10月1日(月)から3日(水)、11団体65名の参加の下、発声訓練士養成事業研修会が、NPO法人日喉連 東日本ブロック主催で、茨城県つくば市の「ホテルグランド東雲」で開催されました。今回の研修会は茨城聴声会が担当しました。

ご来賓には、茨城県健康福祉部障害福祉課 課長松山 和則様並びに茨城県立中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 上前泊 功様をお迎えし、お二人よりご挨拶を賜りました。

戦に出場いたしません。  
【食道発声の部】  
吉田 久乃、中村 齊藤 陽一、大貫 榮二(以上銀鈴会)、加藤典男(茨城聴声会)  
【E.L発声の部】  
小野 栄一(新潟県美鈴会)、領家 宣雄(銀鈴会)  
二日目は、「障害者になって得たもの」と題して リオデジャネイロパラリンピック・ボート競技日本代表出場の特定医療法人仁寿会・総和中央病院・医療ソーシャルワーカー 駒崎茂様よりご講演をいただきました。駒崎様は40歳の時交通事故で両脚を切断し、すべてを見失った最中、

**第10回全国喉摘者発声大会本戦**  
とき 30年11月17日(土)  
ところ 信濃町東医健保会館  
会員の皆様ぜひご参加ください。



講演者 駒崎 茂様

リハ  
ビリ  
で始  
めた  
水泳  
がき  
っか  
けで

全国障がい者スポーツ大会で優勝されました。その後ボート競技に挑戦し、2014年仁川アジアパラリンピック大会で銀メダル、2016年にはリオ大会の出場を果たしました。

障害者になってからは、言葉では言い尽くせないほどの多くのものを得たとのことです。「障害を持って不幸とは思わない。障害はその人の個性と思っている。日々目標を持って生きている。」などがとても印象に残った言葉でした。講演を通じ障害の違いがあるものの、喉摘者の我々に取って勇気づけられる多くのことを学ばせていただきました。

講演に引き続き行われた発声訓練士養成の研修会では、

①「スムーズな食道発声指導のポイント」

②「入会者のオリエンテーションについて」

の2テーマについてあらかじめ各5団体がまとめた資料内容を基に



8グループに分かれ議論し、その結果をグループ毎に発表しました。二つとも重いテーマで各グループからは色々な報告があり、結論には至りませんでした。各団体の指導方法を学んだことで今後の効果的な指導に繋げる一つになったと思います。

研修会修了後、松山日喉連会長の挨拶並びに秋元東日本ブロック長より、研修会参加者への修了証授与、及び今回の研修会の反省と来年の予定について報告がありました。

引き続き次回開催地長野県信鈴会上條会長の挨拶、原 東日本副ブロック長の閉会挨拶で閉会となりました。

**国際協力事業活動Ⅰ  
AFLA 平成30年度活動**

喉頭摘出者団体アジア連盟（AFLA）加盟国での食道発声研修会は、今年度は南インド・チェンナイで実施することになりました。昨年11月タイ・バンコクで開催された第25回総会・第27回運営委員会において開催場所チェンナイが決定され実施するものです。11月30日～12月11日の12日間、銀鈴会指導員3人により



AFLA 活動 食道発声研修2017年11月

現地喉摘出者に対し食道発声訓練を行います。研修会は発声能力別に、3つに分け行います。

- ①初級クラス「全く声の出ない人」は、主に声を出すコツを教えます。
- ②中級クラス「1～2音程度の発声が出る人」は、マンツーマンで個々の発声レベルの向上を目指します。
- ③上級レベル「3～5音程度まで発声が出る人」は、自己紹介などを交え日常会話ができるレベルを目指します。

訓練期間中に上達の著しい会員には、上のクラスに推薦し、また、上級クラスからは、現地指導員候補を選び指導員として育成します。この研修会を通じてチェンナイ発声教室の一層の組織強化が図られることと思えます。

**国際協力事業活動Ⅱ  
JICA 草の根技術協力事業**

この事業については、昨年度残念ながら不採択になった案件ですが、今年度再チャレンジを目指し現在準備中です。

事業名は「ベトナムの喉頭摘出者に対する食道発声教室開設と発声訓練体制の確立」です。審査は資格審

査から始まり一次、二次、最終審査を経て採択の可否が決まります。昨年の銀鈴会案件は最終審査で不採択と残念な結果になりました。採択件数は応募25件中7件で、採択率は28%と非常に厳しい審査だったといえます。

銀鈴会は初めての応募で最終審査まで残ったことは、この案件の重要性が認められたことといえます。今年度は昨年度の不採択コメントを踏まえ事業提案書を作成中です。以下に事業の概要を述べます。

ベトナム ホーチミンにおいて、喉頭摘出失声者に対し第2の声を取り戻す支援で、具体的プロジェクト目標は、「ベトナム ホーチミンにおいて食道発声訓練教室が定期的、継続的に開催され、ベトナム国内の食道発声普及のモデルとなる。」です。発声教室運営に当たっては、銀鈴会のノウハウを伝授することで、設立に必要な定款、細則、指導マニュアルなどの作成についての支援を行います。事業の規模・期間は1千万円以下・3年以内です。

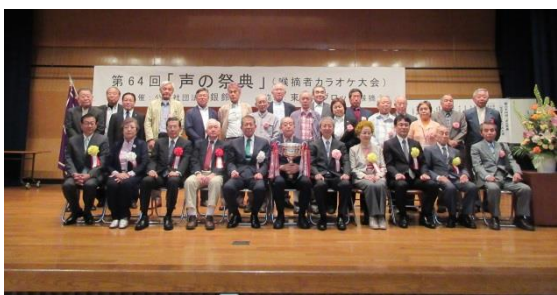
事業提案書は10月末提出し2019年3月下旬に審査結果がでる予定です。採択が決定すれば、2020年早々から事業を開始し2年間でプロジェクト目標を達成する計画

です。2019年「ぎんれいだより(春号)」には、採択結果についてご報告できることと思えます。

**第64回声の祭典  
「カラオケ大会」**

「カラオケ大会」は、「声の祭典」の一環として行われており今回は2回目です。一昨年は銀鈴会単独で開催しましたが、今回は初めての試みとして銀鈴会の主催、日喉連東日本ブロック協賛で平成30年6月16日(土)、午後1時より東京都新宿区の東医健保会館大ホールに於いて、開催されました。

大会では、第一興商さんのご厚意による素晴らしいカラオケ装置の下で、5団体19名の参加で日頃の練習成果を思う存分発揮していただきまし



た。入会1年半から24年超、また年齢も60歳から84歳までの会員が3分間の歌唱力を競いました。

吉原審査委員長の「今日はカラオケ大会です。何よりも楽しくやることが大切です」と挨拶の後、開始されました。

**競技結果**ベストスリーは以下の通りです。(詳細は銀鈴誌第65号に)

- 1位最優秀賞 山後 政芳 (銀鈴会)
- 2位優秀賞 板谷 吉治 (銀鈴会)
- 3位優秀賞 矢代 三江 (銀鈴会)

**銀鈴会 ホームページ (HP) アンケート調査結果報告**

5月に実施したHPアンケート調査につきましては、71名の多くの会員の方からご回答をいただきました。貴重なご意見を多くいただき、今後のHP内容の更なる充実に大いに役立させて参りたいと思います。ご協力有り難うございました。

**結果の概要**

① HPの閲覧については、回答者71名中47名、66%の方がご覧になっています。

② 「知りたい情報がすぐ見つかった」との回答は、47名中38名、80%以上の方が「迅速な情報の取得」を

実感しているようです。

③ 「内容の分かりやすさ」については、47名中41名、87%の方が分かりやすいとの回答でした。

詳細は銀鈴会HPをご覧ください。

**喉摘者の障害者年金診断書 再認定不要の確認**

最近、全国の年金事務所から喉頭摘出者の5年ごとの見直し障害状況確認届(診断書)の提出要求があり、診断書提出がない場合は障害者年金支給が休止されることがあると、警告される事例が増えていました。同じ喉頭摘出手術を受けていながら、有期認定、永久認定の違いによる診断書提出の要、不要で混乱が起きていました。

日本喉摘者団体連合会では銀鈴会顧問の寺尾徹先生を通じて、厚労省に平成30年5月に「永久固定障害であること」の徹底と診断書への「永久固定障害者であること」の一文追加を要望しました。その結果、8月1日付で、厚労省から年金事務所に対して『喉頭摘出者については2級で永久固定とするよう』通達が出されたと聞いています。

**商品の紹介**  
お問合せ先 銀鈴会事務局




旅行などに最適  
携帯用  
ネブライザ  
オムロン製  
(NE-U22)



ATOS 「プロヴォックスルナ」  
喉頭摘出者の就寝を快適にする人工鼻

公益社団法人銀鈴会 事務局 武内 進  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901  
TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497  
E-mail : office@ginreikai.net  
ホームページ : <https://www.ginreikai.net/>

お問い合わせは 

生産者の顔が見えるお茶  
**静岡・川根茶産地直送**



♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡  
身近な方々の  
ご理解とご協力をお願いいたします。

~~~~~  
年会費  
・法人賛助会員 1口5,000円 6口以上  
・個人賛助会員 1口5,000円 1口以上  
~~~~~



## ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 平成 30 年 9 月末日現在(五十音順 敬称略)

株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社オカムラ、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、穂星電子工業株式会社、株式会社鈴木保有社、住石ホールディングス株式会社、住友林業株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、太成倉庫株式会社、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社電制、東京ガレーヂ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレーヂサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、株式会社福祉施設共済会、株式会社プロティア・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、株式会社メディカルコーチ、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社、株式会社ABC店舗、SMB C日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

青木佑一、青山弘、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、浅見精二、足立健之助、荒川敬子、荒松允之、有巢皓三、安藤京子、安藤純一、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、池田美代、石井恭平、石川和子、石河文子、石田研吾、市田治弥、市吉將浩、井手麻喜子、伊藤仁、犬山正人、井上貴之、井上裕子、井上洋一郎、岩崎堅司、岩崎伸、岩間和夫、上田繁、上原七司、上榎政隆、宇佐美昭夫、江口仁、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、大貫貞子、大貫美智子、大橋敏男、大浜保道、岡島正恒、岡田悠紀子、岡戸富美子、荻原勇夫、奥島茂、奥原修、尾野有代、笠貫達也、梶山和秀、柏瀬幸弘、加藤芙美子、金子豊巳、片山浩晶、片山雅美、茅史郎、川井栄助、川崎光夫、川鍋千枝子、岸健作、城所忠男、木下勝男、清田次郎、沓澤昭雄、工藤剛武、窪井純子、久保木昭次、久保力男、熊川喜代司、栗原弘、小島啓三、狐塚博、小谷昌司、後藤清、小濱利重、小林あや子、小林宏、権平清、今野真機子、斉藤博、斎藤隆、齋藤隆治、坂内まち子、左海省司、酒井弘子、坂上典子、相樂多恵子、佐久間博、櫻井卓巳、櫻井正身、佐々木昭夫、佐竹英三、佐藤和人、佐藤圭吾、佐藤賢治、佐藤茂樹、佐藤隆史、佐藤喜重、佐野幸孝、澤口みよ、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、宋倉康雄、篠清市、篠田乃武子、篠奈津子、篠美登里、柴尾邦江、柴田清、芝満雄、島田厚子、島田初夫、島田真由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、下里岩二、朱宮裕子、正願地孝子、白井芳郎、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木時子、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、砂長治、隅谷貞子、隅谷政紀、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋敏夫、高橋剛、高橋もと子、高橋孝壽、高橋保夫、高原明美、高山幸明、武田達幸、武田祐爾、田尻直樹、橘巖、立石善一、谷貝忠秋、田原武志、辻文子、寺尾徹、寺澤永祥、栃木謙治、永井一男、永井芳子、中台庄次、中西昭雄、中西正夫、中村宗夫、名越一郎、新美典子、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、長谷川サイ、長谷川良克、花嶋良直、馬場茂、馬場一寿、浜野耕平、林宏一、半田建二、東幸子、引間善二、檜森聖三、平澤玉吉、廣瀬肇、藤井玉江、藤田清、藤原桂子、藤森良一、舩越建治、二木芳彦、古川寿、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、本田学、本間廣俊、前田知子、牧野清、正木壽子、増田惣一、増田正毅、松井昇、松岡宏、松清平、松下成孝、松嶋宏、松田幸雄、松田行雄、松本博、松山光志、松山寿美子、松山雅哉、松山雅則、眞辺致一、右田正隆、水島雅晴、水野壽夫、三田村一雄、宮原厚夫、宮本啓三、村田恵子、村松繁雄、村本高史、森本孟子、八木清文、八木又一郎、矢島藤人、矢代三江、安田祥子、安野智、谷田部元吉、柳葉君代、柳葉藤枝、山岡弘尚、山岡義雄、山岸正央、山口明、山口春吉、山口平男、山崎浩子、山田善宣、山寺勉、山村利司、山本勇、山本一雄、山本恵子、横井俊三、横江良市、吉田一男、吉田伸弥、吉田久乃、吉田美保子、吉野充聡、脇田誠照、和田栄子、和田重章、和田義文、渡辺恵一、渡辺忠義、渡邊鐵雄、渡邊正雄、渡邊操、渡三夫、王美林、E. K.、F. K.、F. H.、H. H.、M. J.、N. M.、N. T.、O. T.、O. Y.、S. K.、S. M.、T. M.、T. K.、Y. S.、Y. N.、Y. Y.